

# あいち農産物生産流通レポート

2022年4月号

◎ 地域トピックス		
・ 東三温室園芸農業協同組合が大葉集出荷貯蔵施設を整備	(東三河農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報		
・ FOOD EX JAPAN 2022の開催 ～注目を集める代替肉～	(東京事務所)	2
◎ 西日本情報		
・ 小麦作の生産動向について	(園芸農産課)	4
・ いいともあいち運動を活用した県産農林水産物のイメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組	(食育消費流通課)	5
◎ 青果		
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し		8
◎ 花き		
・ 切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)		20

※今月「情報サロン」と「フラワーページ」はありません

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400



## 東三温室園芸農業協同組合が大葉集出荷貯蔵施設を整備

東三河農林水産事務所

東三温室園芸農業協同組合（豊川市）は、大葉、ハーブ類、菊花、木の芽等の「つまもの野菜」に特化した専門農協です。

近年、消費者の食が多様化するなかで、量販店向けの販売に対応するため、産地生産基盤パワーアップ事業により大葉集出荷貯蔵施設を整備し、2022年4月から稼働を始めました。



施設の外観

### 1 事業のねらい

当組合の事業計画では、「食べる“つまもの”への挑戦」を掲げています。大葉に関しても、業務用向け（100枚入）の商品だけではなく、家庭用向け10枚入や袋詰めの引き合いが強くなっているため、この事業で整備した集出荷貯蔵施設や包装機により、様々な販売シーンに対応できる商品の出荷に取り組みます。



自動計量包装機

### 2 整備した施設、設備について

事業では、建屋1棟、冷蔵庫、自動計量包装機2台、ピロー包装機1台、自動選別結束機5台を導入しました。

中でも自動選別結束機は、国内で初めて導入され、高さ1.6m、横1.2m、奥行き80cmとコンパクトながら、人工知能（AI）が大葉の大きさ、裏表、傷を判別し、結束まで行います。今後この機械の普及が進み、各農家に導入できる程度の販売価格になれば、手選別作業の省力・省人化につながることで期待されます。



自動選別結束機

## FOODEX JAPAN 2022 の開催 ～注目を集める代替肉～

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2022年3月8日（火）から11日（金）に幕張メッセでFOODEX JAPAN 2022が開催されました。このイベントで代替肉が注目されていたので、その内容を紹介します。

## 1 FOODEX JAPAN の概要

FOODEX JAPAN は、日本とアジア、世界をつなぐ国際食品・飲料総合展示会として、食に関わる人々と共働り、食の新たな価値を創造する展示会であり、一般社団法人日本能率協会を始め、一般社団法人日本ホテル協会、一般社団法人日本旅館協会、一般社団法人国際観光日本レストラン協会、公益社団法人国際観光施設協会の主催で開催されました。

47回目を迎える今回は、世界の食に関する課題解決に向けて、①日本全国、世界各国からの出展者と来場者の商談機会の最大化、②健康増進・環境配慮につながる商品開発の促進、③省人化・簡便化・労働生産性の向上につながる技術開発・導入の促進、④フードロスに対応する新技術・新ビジネスの開発と啓発、代替食及び未利用資源の活用、SDGs達成に寄与する食品生産の啓発などがテーマとなっていました。

海外出展ゾーンを始め、輸入食品、オーガニック&ウェルネス、加工食品、情報・サービスといった様々なゾーンが設けられ、来場登録者数は4日間の合計で3万3千人余りと盛況でした。とりわけ、今回新設された代替食品・新素材のゾーンが常に賑わっていたのが印象的でした。



会場の受付の様子

## 2 代替食品・新素材の展示

地球上の人口増加に加え、新興国の経済発展による食生活の変化に伴い、近い将来にタンパク質の供給源不足が予測されていること、家畜の飼養・肉の製造に伴う炭酸ガスの排出や水利用の削減が求められること、欧米における健康志向が高まっていることなどから、代替肉の市場は成長しており、今後も成長が見込まれています。

代替肉は、一般に大豆など植物由来の肉と、培養技術を用いた培養肉に分けられ、現在は前者の流通が主です。その原材料の多くを大豆が

プラントベースフード商品の展示  
(大塚食品株式会社のブース)

占めており、それらは大豆ミートと呼称されることが多くあります。植物由来の代替肉を総称してプラントベースミート（以下「PBM」）とも呼ばれています。

代替食品・新素材のゾーンでは大豆ミートが目立ち、出展する 22 社のうち 3 分の 2 ほどのブースで展示されていました。大豆ミートを用いた、からあげやソーセージ、ハンバーグなどが並べられ、試食が提供されていました。

また、大豆を原料としたおからに、こんにやくを加えた商品を展示するブースもあり、「肉でも魚でもない新しい美味しさ」として食物繊維も摂取できると PR していました。

大豆ミートは、輸入大豆を用いることが多い中、北海道や青森県産の国産大豆のみを用いた商品もありました。担当者によると、「国産大豆のみを用いた商品もあるが、ハンバーグなどは食感を出すために外国産をブレンドする工夫をしている。」とのことでした。

さらに、大豆はアレルギーであるためアレルギーに配慮して大豆ではなくエンドウ豆を用いたものや、同じくアレルギーである小麦の代替として米粉を使ったグルテンフリー麺なども展示されていました。そのほか、オーツ麦やココロギを原料として紹介するブースもありました。



おからとこんにやくの原材料商品の展示  
(ディーツフードプランニング株式会社のブース)



国産大豆商品の展示  
(株式会社かるなあのブース)

### 3 セミナー ～注目を集める代替食 新しい肉の選択 PLANT BASED MEAT～

会場では食にまつわる多くの講演・セミナーが連日行われ、そのひとつとして代替肉をテーマにしたトークセッションがありました。

3名が登壇し、株式会社ベジタリアンブッチャー・ジャパン代表取締役の村谷幸彦氏は「2017年に初めてPBMを輸入したときはヴィーガン（完全菜食主義者）がターゲットだった。2020年はPBM元年であり、広めていくには意識を変える必要がある。ライフスタイルを提案し、ネガティブなイメージでなく新しい価値観としていく。」としました。BK Japan Holdings マーケティングディレクターの野村一裕氏は「バーガーキングでは5年ほど前からPBMを売り出し、客は「肉かどうか分からない。」という反応を示す。20～30代には当たり前になるかもしれない。牛肉を食べ続けるため、代わりにPBMを食べる日を作るようにしたい。」としました。デザイナーであり環境省アンバサダーでもあるマリエ氏は「課題として「肉を諦める」イメージを変え、ノーマルにならないといけない。PBMは食べるとおいしい。食べられる場所を作ることが必要である。車内禁煙が広まって当たり前になったように、今後は広まって共存すると思う。」としました。

## 小麦作の生産動向について

園芸農産課

愛知県的小麦は、多くが水田において稲—麦—大豆の2年3作体系で栽培されています。県内の主な産地は西尾市、安城市、豊田市、岡崎市、弥富市です。

## 1 作付面積および収穫量と10aあたり収量

愛知県的小麦作付面積、収穫量、10aあたり収量は、この10年でそれぞれ約500ha、9,700t、約130kg増加し、2021年産では5,780ha、29,400t、509kg/10aとなりました(図1、2)。

全国と比べると、2021年産における作付面積は第6位、収穫量は第4位、10aあたり収量は第2位であり、愛知県は全国有数の産地となっています。特に10aあたり収量は、2018～2020年産で全国1位となりました。

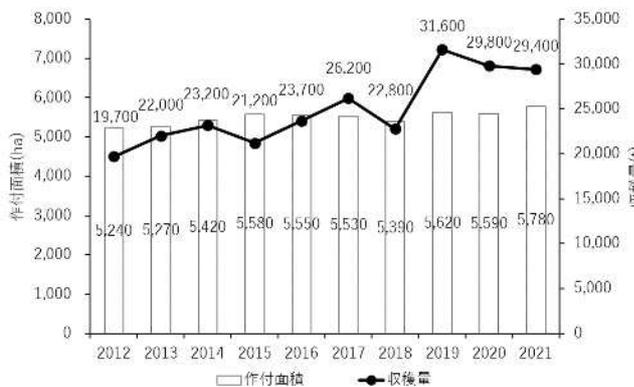


図1 作付面積と収穫量の推移

出典：作物統計(2021年産は速報値)

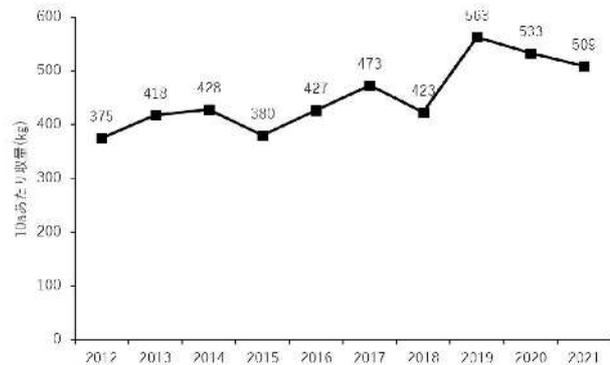


図2 10aあたり収量の推移

出典：作物統計(2021年産は速報値)

## 2 「きぬあかり」と「ゆめあかり」

愛知県で栽培されている小麦は、日本麺用の「きぬあかり」とパン・中華麺用の「ゆめあかり」の2品種で、どちらも愛知県農業総合試験場が開発しました。また、愛知県産小麦の需要拡大のため、「きぬあかり」「ゆめあかり」普及推進プロジェクトチームを組織し、農業者団体や流通・販売業者と共にPRを行っています。

「きぬあかり」は、従来品種に比べ多収で、色が明るく、つるつるとした食感で、コシのある麺を作ることができ、愛知県的小麦作付面積のうち約8割を占める主力品種です。2022年2月末時点で、きぬあかりを使用している140の事業者が、シンボルマークを製品に貼付する等PRを行っています(図3)。

「ゆめあかり」は、愛知県で初めて開発されたパン・中華麺用品種です。湿害に強く倒れにくい性質を持つため、安定した収量が得られます。2022年2月末時点で、ゆめあかりを使用している62の事業者が、シンボルマークを活用してPRを行っています(図3)。

平成26年5月9日登録  
登録商標 5667486号平成30年12月7日登録  
登録商標 6103931号

図3 シンボルマーク

## いいともあいち運動を活用した県産農林水産物の イメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組

食育消費流通課

愛知県には、全国トップレベルのブランド力を持つ名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎなどの他、産出額等が全国上位の農林水産物が多数ありますが、それらの知名度は必ずしも高くありません。

このため、愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」と連携し、主要品目のさらなるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップに加え、本県開発の次代を担う品目・品種のブランド化を推進しています。

### 1 あいちの農林水産物全体のイメージアップ

名古屋グランパスとのコラボレーションにより、YouTube 公式チャンネルで県産農林水産物のイメージアップを図るPR動画を発信した他、愛知の魅力が詰まったオリジナル商品(名古屋コーチン餃子)を名古屋グランパスの試合会場や、東京都内で開催された「おいしいにっぽんフェス 2021」の会場で販売するなど、県内外に向けて県産農林水産物をPRしました。

また、東京都内の量販店において、知事トップセールス※を皮切りとした販売促進フェア「あいちの春野菜フェア」(2/5～2/6、3/25～3/27)を開催し、首都圏の消費者に対し、県産農林水産物の地名度向上、販売促進に向けた取組を実施しました(※知事のビデオメッセージ放映)。

### 2 主要品目のブランド力強化

名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎといった本県が誇る主要品目について、イベント等の開催を通じて、それぞれの魅力を県内外に向けて発信しました(表1)。



名古屋グランパス栄養アドバイザー直伝!  
あいちの元気ごはんレシピ動画



グランパスくんが探る!  
あいちの美味しさの秘密動画



オリジナル商品

表1 主要品目のブランド力強化実施状況

品目	実施状況	
名古屋 コーチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋コーチン消費拡大イベント「名古屋コーチンまつり」の開催。</li> <li>期日：2022年3月4日（金）～6日（日）</li> <li>場所：名古屋市農業センターdela ふぁーむ</li> </ul>	
花き	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレンタインデーに大切な人に花を贈る「フラワーバレンタイン」運動を推進するPRイベントの開催。</li> <li>期日：2022年2月5日（土）・6日（日）</li> <li>場所：ミュプラット神宮前（名古屋市熱田区）</li> <li>期日：2022年2月11日（金）～14日（月）</li> <li>場所：渋谷パルコ（東京都渋谷区）</li> <li>県本庁舎に「あいちおもてなし花壇」を設置。</li> </ul>	
抹茶	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶文化と「あいちの抹茶」の素晴らしさを伝える、知事が席主の「愛知県茶会」を開催。</li> <li>期日：2022年3月26日（土）</li> <li>場所：愛知県公館（庭園）</li> </ul>	
水産物 （あさり、 うなぎ等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>産地の店舗等で「おさかなカード」を配布し、抽選で水産物等が当たる「あいちのおさかなカードキャンペーン」を開催。</li> <li>期日：2021年8月1日（日）～10月31日（日）</li> </ul>	

### 3 次代を担う品目・品種のブランド化の取組

新たなブランド品目になることが期待される、本県が開発した次代を担う品目・品種について、知名度向上に向けた取組を実施しました（表2）。

表2 次代を担う品目・品種の取組

品目・品種	内容
夕焼け姫 (カンキツ新品種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRイベント、試食アンケートの開催</li> <li>メディア向け記者発表の実施</li> </ul>
愛知梨3号 (ニホンナシ新品種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRイベント、試食アンケートの開催</li> <li>シンボルマークを商標登録出願</li> </ul>
かがり弁ギク	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏でオンラインワークショップの開催</li> </ul>



夕焼け姫PRイベント

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2021年実績	1,160	575 (50%)	257	愛知 (50%) 静岡 (46%) 茨城 (3%)
2022年見通し	1,160	—	257	—
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
愛知、静岡、茨城を中心に入荷する。4月1日時点では、生育・入荷ともに昨年同様順調である。産地での作付面積も前年並となっている。給食が始まる4月中旬頃から需要が高まる予想。 入荷量と価格は、ともに前年並となる見込み。		愛知は生育順調で品質も良好であるが、夏場の暑さで傷みが出やすいため、適期収穫を心掛け、品質を維持していただきたい。 今後も栽培面積を維持し、安定出荷をお願いしたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2021年実績	1,771	347 (20%)	1,128	鹿児島 (26%) 長崎 (9%) 福島 (8%)
2022年見通し	1,800	—	1,100	—
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
暖冬で前進化した前年に比べると、今年は冷え込みの影響でやや遅れがみられ、2月以降は数量の少なさから比較的高値で推移した。生育は概ね良好で、気温の上昇に伴い入荷量が増加して価格は一旦下がるものの、4月以降は入荷量を徐々に減らす時期であり、価格は堅調な推移を見込む。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。		きぬさやえんどうについて、「紅姫」の品質面での信頼が高く、愛知県産のブランドともなるため、販促活動で需要を拡大したい。 スナップエンドウは数量の増減の幅が大きいため、安定供給とともに増産をお願いしたい。また、ガクの枯れは他県産では返品扱いで等級規格に含まれないことから、基準の見直しをお願いしたい。		

※さやえんどうに、きぬさやえんどう、スナップエンドウ、砂糖えんどう、オランダさやを含む。

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋中央卸売市場

3月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2017年	32,775	239	253	241	220	愛知 27%
	2018年	32,444	209	213	210	204	北海道 15%
	2019年	35,781	217	226	225	201	茨城 10%
	2020年	35,876	237	239	245	227	鹿児島 9%
	2021年	38,309	213	218	204	217	徳島 7%
	5ヵ年平均	35,037	223	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	33,100	259	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道などから入荷する。気温上昇により、各品目とも生育は概ね順調だが、葉菜類と果菜類の一部で低温による生育遅れがみられる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
だいこん	2017年	1,733	104	120	102	96	千葉 46%
	2018年	1,882	86	84	89	93	愛知 37%
	2019年	2,186	92	96	111	75	鹿児島 14%
	2020年	1,608	118	129	111	120	香川 1%
	2021年	2,173	78	73	81	88	三重 1%
	5ヵ年平均	1,917	94	98	98	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	2,000	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、愛知を中心に鹿児島からも入荷する。低温により生育が遅れていたが、中旬以降入荷量が増加する見込み。愛知は尾張地区が中下旬に入荷ピークを迎える予想。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	2017年	1,896	173	185	187	149	徳島 97%
	2018年	1,532	234	231	231	239	中国 2%
	2019年	2,321	122	109	127	128	
	2020年	2,434	152	177	148	136	
	2021年	2,429	167	168	164	170	
	5ヵ年平均	2,122	164	169	166	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	2,300	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量が徳島からの入荷となる。徳島は生育良好で順調な入荷を見込む。下旬頃に入荷ピークを迎える見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

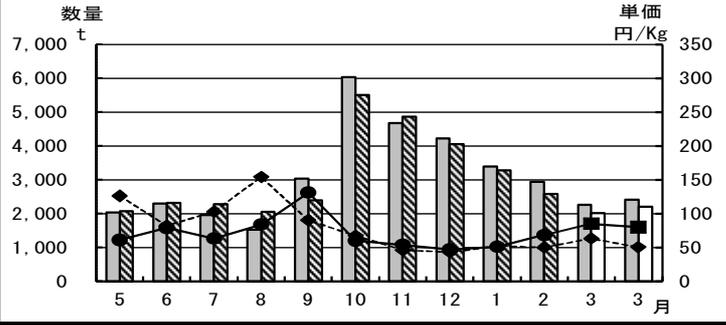
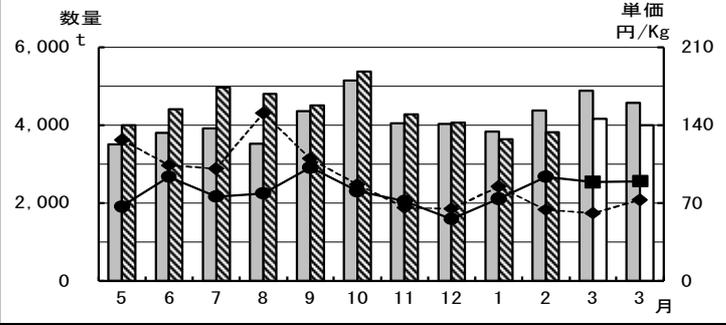
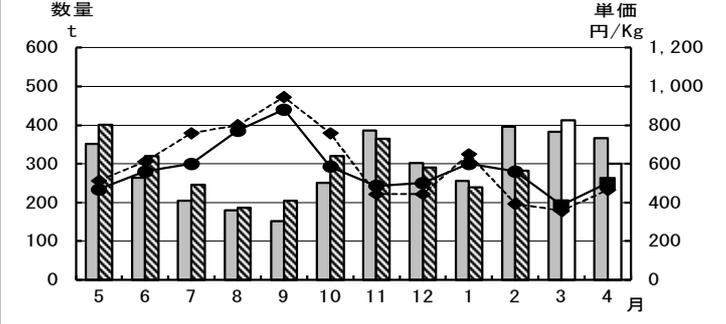
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2017年	129,544	260	275	260	245	茨城 16%
	2018年	125,191	226	223	229	227	千葉 16%
	2019年	128,921	242	245	253	226	北海道 7%
	2020年	124,597	258	256	259	258	神奈川 7%
	2021年	128,101	235	226	236	246	愛知 6%
	5ヵ年平均	127,271	244	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	128,000	245	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、千葉など関東産地や北海道からの入荷が中心となる。年末から2月までの低温や干ばつによる生育遅れは3月の気温上昇と定期的な降雨で回復傾向。量に不足はなく、相場は落ち着いた動きとなるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	2017年	11,375	94	108	90	84	千葉 83%
	2018年	10,494	83	73	86	91	茨城 11%
	2019年	9,982	96	93	112	81	神奈川 2%
	2020年	9,487	112	108	107	122	福岡 2%
	2021年	10,207	69	59	68	84	
	5ヵ年平均	10,309	91	88	92	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	10,000	95	100	95	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心に茨城などからの入荷となる。年末以降の冷え込みと干ばつによる生育遅れは、定期的な降雨と気温の上昇により解消。順調に収穫が進み、不足感のない入荷が続く見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	2017年	8,350	168	175	183	148	徳島 81%
	2018年	6,640	214	210	213	220	北海道 6%
	2019年	7,844	121	108	127	128	静岡 4%
	2020年	9,265	158	179	154	145	青森 2%
	2021年	8,445	163	155	160	173	新潟 2%
	5ヵ年平均	8,109	163	165	166	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	8,700	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島を中心に北海道、静岡などからの入荷となる。主力の徳島は冷え込みの影響で量は少なめとなっていたが、気温の上昇に伴って増やしていく。品質は高くないものの入荷は潤沢で、相場展開は厳しいか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

3月16日 現在

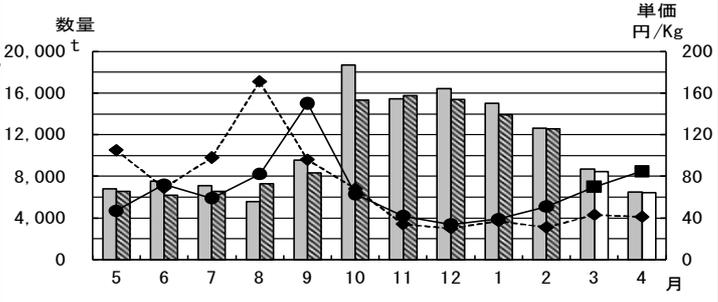
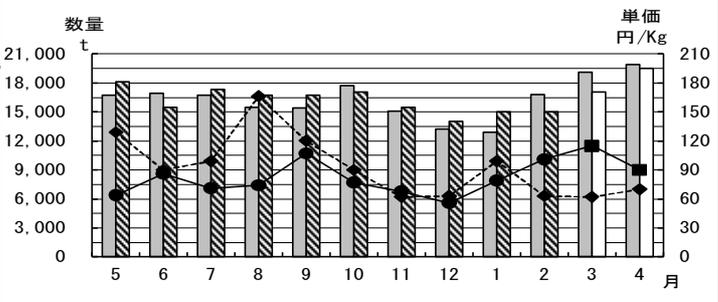
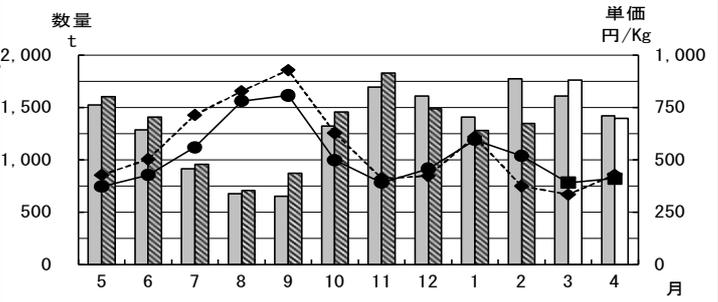
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	2017年	1,676	151	199	156	101	茨城 72%
	2018年	2,045	61	57	68	59	愛知 11%
	2019年	2,233	76	79	88	61	三重 9%
	2020年	2,646	199	155	192	244	熊本 4%
	2021年	2,400	50	50	49	54	兵庫 3%
	5ヵ年平均	2,200	109	105	111	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	2,200	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城を中心に愛知、三重などから入荷する。茨城、愛知ともに生育がやや遅れており、茨城は中旬より、愛知は下旬より増加する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
キャベツ	2017年	4,001	109	132	107	101	愛知 94%
	2018年	3,441	91	87	103	89	神奈川 3%
	2019年	3,797	85	93	94	73	茨城 1%
	2020年	3,846	136	106	139	158	兵庫 1%
	2021年	4,569	73	63	79	79	静岡 1%
	5ヵ年平均	3,931	98	95	104	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	4,000	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に神奈川、兵庫などから入荷する。年明けからの冷え込みにより生育が悪く、入荷量にばらつきがある見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
ほうろ	2017年	293	471	450	451	552	岐阜 43%
	2018年	264	509	457	542	537	茨城 25%
	2019年	345	449	500	510	364	愛知 21%
	2020年	305	572	539	617	568	静岡 8%
	2021年	366	465	382	526	534	徳島 2%
	5ヵ年平均	314	491	464	529	507	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	300	500	450	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、茨城を中心に入荷する。愛知は終盤を迎えるが、後続となる岐阜の高冷地物は雪や低温の影響で入荷が遅れる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

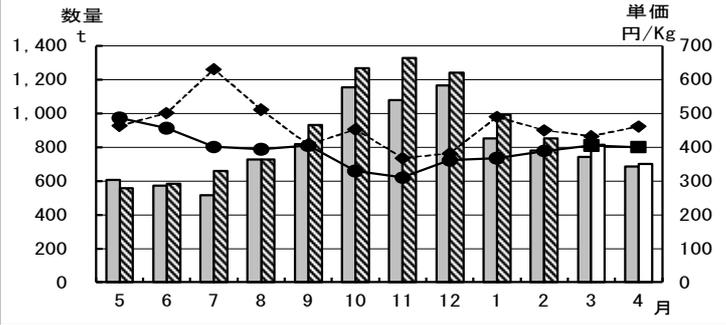
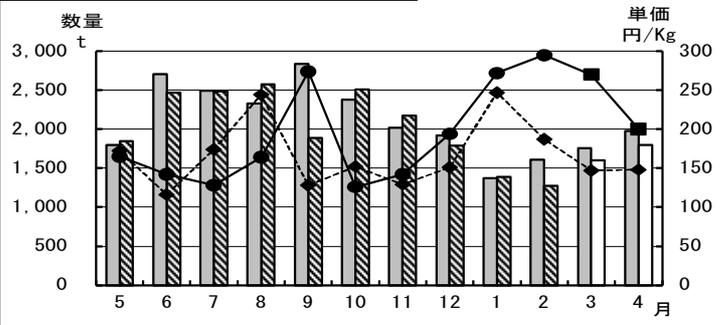
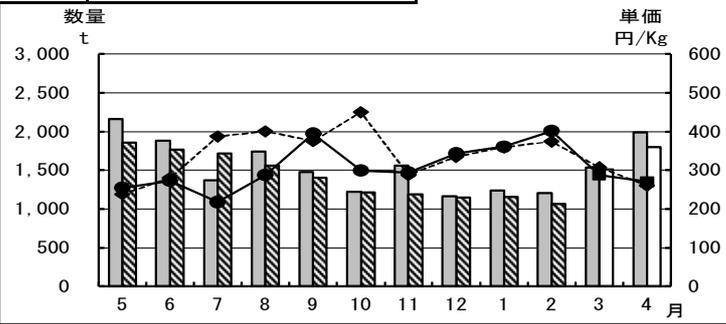
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2017年	6, 1 5 2	1 4 1	192	148	92	茨城 96%
	2018年	6, 6 3 0	4 6	40	49	50	長崎 1%
	2019年	6, 3 9 9	7 4	77	84	58	兵庫 1%
	2020年	6, 4 8 5	1 8 8	158	187	215	北海道 1%
	2021年	6, 4 8 5	4 1	37	41	45	
	5ヵ年平均	6, 4 3 0	9 7	100	101	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	6, 4 0 0	8 5	100	85	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城からの入荷がほとんどを占める。干ばつにより一部では初期生育が遅れていたものの生育はおおむね順調。春はくさいがピークを迎え、入荷量に不足はないと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は暴落した前年を大幅に上回る見込み。							
キャベツ	2017年	1 9, 5 6 9	1 1 8	139	115	103	神奈川 44%
	2018年	1 8, 9 7 7	9 0	95	99	76	愛知 27%
	2019年	1 9, 1 4 8	9 0	90	103	73	千葉 25%
	2020年	1 7, 7 2 8	1 3 9	121	137	164	茨城 2%
	2021年	1 9, 9 1 7	7 0	60	73	78	静岡 1%
	5ヵ年平均	1 9, 0 6 8	1 0 1	101	105	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	1 9, 5 0 0	9 0	105	90	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
神奈川、愛知、千葉からの入荷が中心となる。冷え込みと干ばつによる生育遅れは気温上昇等で回復傾向。愛知は遅れのため残量あり、神奈川と千葉は量を増やし、総じて潤沢。数量増加に伴い価格は下落か。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
ほうれんそう	2017年	1, 1 4 8	4 9 0	488	470	512	茨城 43%
	2018年	1, 0 9 1	4 8 8	420	591	475	群馬 36%
	2019年	1, 2 9 9	4 2 5	495	491	311	埼玉 8%
	2020年	1, 2 6 0	5 5 9	545	591	545	栃木 5%
	2021年	1, 4 2 1	4 2 8	348	532	430	千葉 3%
	5ヵ年平均	1, 2 4 4	4 7 6	457	534	451	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	1, 4 0 0	4 1 0	430	410	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。冷え込みと干ばつの影響で一部産地では葉の傷みがみられるものの、各産地とも生育はおおむね順調。遅れた分が出てきて、潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は多かった前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

3月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2017年	660	411	404	427	415	大分 31%
	2018年	650	341	309	337	391	鳥取 16%
	2019年	715	350	316	362	378	愛知 14%
	2020年	716	400	381	397	423	静岡 9%
	2021年	686	461	409	458	525	長崎 5%
	5カ年平均	685	393	364	396	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	700	400	400	400	400		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>大分、愛知、鳥取などから入荷する。白ねぎは鳥取、静岡が入荷ピークを迎え、大分からの入荷は続く見込み。愛知の越津ねぎは平年より生育が遅れている。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>						
し	2017年	1,795	204	232	193	194	茨城 44%
	2018年	1,782	160	153	174	154	兵庫 37%
	2019年	1,703	214	233	227	184	長野 8%
	2020年	1,669	240	208	244	272	愛知 5%
	2021年	1,976	148	130	152	168	群馬 2%
	5カ年平均	1,785	191	189	196	193	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	1,800	200	200	200	200		
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、兵庫を中心に入荷する。茨城と兵庫ともに生育順調。3月下旬から4月上旬に入荷ピークとなる見通し。量販店での需要も高く、堅調な販売を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
き	2017年	1,430	276	261	286	282	愛知 48%
	2018年	1,797	208	209	207	209	宮崎 17%
	2019年	2,016	220	243	220	202	群馬 11%
	2020年	1,769	275	301	288	245	高知 11%
	2021年	1,934	260	266	268	249	鹿児島 6%
	5カ年平均	1,789	246	255	252	235	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	1,800	270	270	270	270		
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に宮崎、高知、群馬などから入荷する。3月から気温が上昇し、4月は各産地平年並の入荷量となる見通し。春作産地からの入荷も増える予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2017年	4, 146	363	361	370	356	千葉 35%
	2018年	3, 830	330	283	332	388	茨城 19%
	2019年	4, 178	306	260	321	345	埼玉 14%
	2020年	4, 092	339	329	298	394	栃木 11%
	2021年	3, 719	490	448	508	518	福岡 4%
	5ヵ年平均	3, 993	364	335	363	398	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	4, 000	350	310	350	390		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷となる。冷え込みと干ばつの影響で生育は遅れ気味も回復傾向。春ねぎは葉数が少ないが、肥大は良好で太物比率が高い。初夏ねぎは生育順調で、安定した入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
し	2017年	7, 381	192	220	182	174	茨城 64%
	2018年	7, 327	147	145	159	136	兵庫 11%
	2019年	6, 819	199	215	223	158	群馬 6%
	2020年	5, 755	219	194	227	240	長野 5%
	2021年	7, 022	133	115	142	150	栃木 4%
	5ヵ年平均	6, 861	176	177	185	169	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	6, 900	150	150	140	160		
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心とした関東産地や兵庫などからの入荷となる。各産地の冷え込みによる生育遅れは、3月の気温上昇により例年並の生育に戻りつつある。小玉傾向も改善し、入荷量に不足はない見込み。入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						
き	2017年	6, 913	279	273	286	174	群馬 25%
	2018年	7, 446	217	225	209	217	埼玉 23%
	2019年	7, 339	229	256	235	197	宮崎 15%
	2020年	6, 932	288	324	296	251	千葉 13%
	2021年	7, 417	266	283	271	245	茨城 11%
	5ヵ年平均	7, 209	255	271	259	217	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し	7, 300	250	260	250	240		
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、埼玉など関東産地を中心に宮崎などからの入荷となる。各産地とも生育に大きな問題はないが、加温控えのため出方が少なかった。気温上昇により数量を増やし、潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
な	2017年	667	367	362	374	369	熊本 52%
	2018年	793	327	345	320	314	愛知 40%
	2019年	851	335	339	333	337	高知 5%
	2020年	793	376	372	373	383	宮崎 4%
	2021年	781	352	352	351	354	
	5カ年平均	777	351	354	349	351	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	800	350	350	350	350	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知が中心となる。熊本は3月下旬から入荷が増量し、4月上中旬にピークとなる見込み。2L、L中心の入荷となる。愛知は昨年より入荷量が増加する予想。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
ト	2017年	1,540	313	338	326	282	熊本 59%
	2018年	1,502	300	307	302	292	愛知 15%
	2019年	1,612	310	360	322	268	岐阜 13%
	2020年	1,267	356	406	355	319	三重 12%
	2021年	1,559	291	305	284	288	0 0%
	5カ年平均	1,496	312	341	316	289	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	1,500	320	320	320	320	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に愛知、岐阜、三重から入荷する。各産地、平年並の入荷量となる見込み。上旬頃まで入荷が少なく、下旬頃から増加してくる見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
ミ	2017年	529	620	668	632	574	熊本 68%
	2018年	566	593	599	596	582	愛知 24%
	2019年	623	625	676	639	568	和歌山 5%
	2020年	542	646	721	654	580	宮崎 3%
	2021年	754	544	559	526	542	0 0%
	5カ年平均	603	602	639	604	567	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	600	600	650	600	550	
ニ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。中旬頃から愛知の入荷量が増加し、下旬頃から熊本が爆発的に増がる見通し。GWに向けて荷動きは良い予想。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

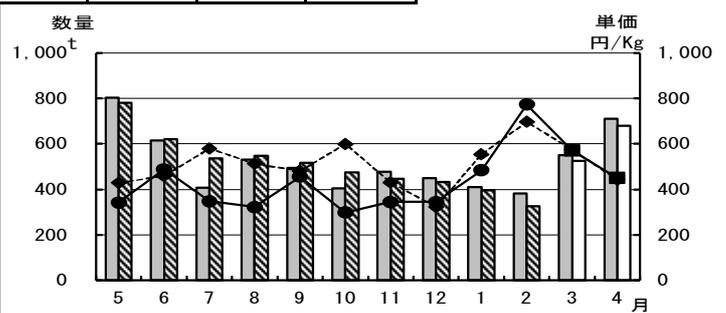
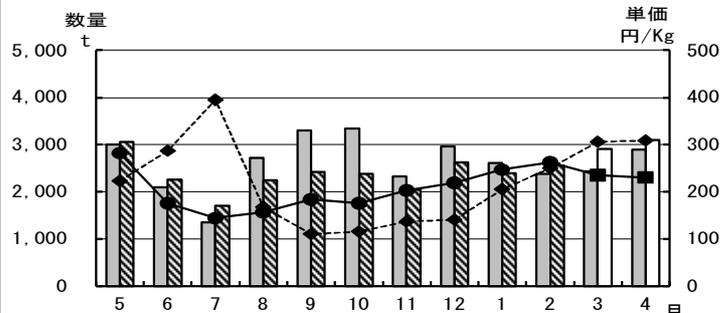
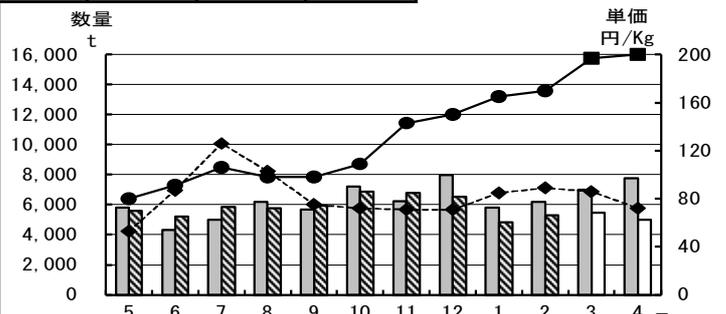
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
な す	2017年	3, 3 3 6	4 3 8	434	445	436	高知 51%
	2018年	3, 6 2 3	3 7 0	356	368	388	福岡 18%
	2019年	3, 6 4 9	4 0 0	408	413	379	熊本 12%
	2020年	3, 3 7 3	4 4 3	440	441	448	群馬 7%
	2021年	3, 6 3 6	4 1 3	408	424	408	栃木 3%
	5ヵ年平均 2022年見通し	3, 5 2 3 3, 6 0 0	4 1 2 4 0 0	408 390	418 410	411 400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡などの西南暖地のほか、群馬などからの入荷となる。各産地とも生育はおおむね順調。着果も良好で、気温上昇や日射量の増加に伴って肥大も進み、潤沢な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	2017年	8, 1 6 9	3 3 6	373	344	295	熊本 35%
	2018年	7, 4 6 4	3 3 3	338	331	329	栃木 24%
	2019年	7, 2 8 8	3 6 0	404	376	308	愛知 11%
	2020年	6, 1 3 2	4 1 2	454	407	377	千葉 6%
	2021年	7, 3 4 6	3 3 5	348	323	334	茨城 5%
	5ヵ年平均 2022年見通し	7, 2 8 0 7, 3 0 0	3 5 3 3 5 0	381 390	354 360	326 300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。主力の熊本での黄化葉巻病等の発生を除けば、各産地とも生育良好。気温上昇、日射量の増加に伴って量を増やす見込み。潤沢な入荷で単価は下落するか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ニ ン ト	2017年	2, 0 7 5	5 6 5	616	576	511	熊本 47%
	2018年	2, 1 2 2	5 4 4	546	541	545	愛知 17%
	2019年	2, 2 7 9	5 9 1	660	597	522	千葉 10%
	2020年	2, 0 8 7	6 0 4	661	610	546	宮崎 7%
	2021年	2, 3 6 5	5 1 4	528	504	509	静岡 6%
	5ヵ年平均 2022年見通し	2, 1 8 6 2, 3 0 0	5 6 3 5 5 5	601 590	564 565	526 510	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉からの入荷が中心となる。各産地とも生育はおおむね良好。日射量の増加などに伴い、入荷量は増加傾向となる。出回り量は十分で、相場は軟化していくか。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月16日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2017年	667	382	367	382	413	鹿児島 43%
	2018年	695	312	351	302	333	宮崎 26%
	2019年	693	426	511	431	364	茨城 20%
	2020年	612	631	604	627	613	高知 10%
	2021年	712	443	492	430	434	
	5カ年平均	676	435	463	430	427	
	2022年見通し	680	450	500	450	400	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>秋冬作の鹿児島、宮崎、茨城を中心に順調に入荷する。各産地、作柄は良好。上旬までは入荷量がやや少なく、中下旬にピークとなる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
白菜	2017年	3,357	223	233	225	217	鹿児島 82%
	2018年	2,724	132	122	126	152	長崎 9%
	2019年	3,149	143	133	147	146	北海道 9%
	2020年	3,439	187	215	173	181	
	2021年	2,890	309	289	316	313	
	5カ年平均	3,112	199	200	197	201	
	2022年見通し	3,100	230	230	230	230	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>鹿児島を中心に入荷する。鹿児島は生育順調で2L中心の入荷となる見込み。長崎は早く中旬から入荷開始となる予想。北海道からの入荷はかなり少ない見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
たまねぎ	2017年	6,164	102	118	113	87	北海道 67%
	2018年	6,085	91	103	96	82	愛知 31%
	2019年	6,387	106	116	102	104	熊本 1%
	2020年	7,506	63	70	64	59	
	2021年	7,771	72	82	69	68	
	5カ年平均	6,783	85	96	87	79	
	2022年見通し	5,000	200	200	200	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道、愛知を中心に入荷する。北海道は計画出荷で、入荷は平年の60%程度とかなり少ない見通し。愛知は干ばつ、低温により生育が遅れ、L中心の入荷となる予想。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2017年	2, 235	427	416	421	446	茨城 55%
	2018年	2, 368	387	414	373	374	宮崎 26%
	2019年	2, 426	485	562	480	425	高知 10%
	2020年	2, 399	648	650	650	646	鹿児島 7%
	2021年	2, 530	480	513	470	457	沖縄 1%
	5ヵ年平均	2, 392	486	513	480	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	2, 300	490	520	490	460	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に、宮崎などの西南暖地からの入荷となる。主力茨城の生育遅れは気温上昇に伴って回復するも、半促成作型の開花が遅れ、数量は伸び悩むか。西南暖地は生育順調も、全体量は例年より少ないか。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
	じゃがいも	2017年	8, 751	223	229	229	209
2018年		8, 333	115	110	112	125	北海道 26%
2019年		8, 884	132	126	133	140	長崎 13%
2020年		10, 013	158	161	150	163	
2021年		7, 491	301	294	299	309	
5ヵ年平均		8, 694	182	181	181	185	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2022年見通し		7, 600	190	200	190	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>鹿児島を中心に、終盤の北海道のほか、長崎からの入荷となる。北海道はほぼ終了。鹿児島は遅れがみられ、例年の3月分が残る。後続の長崎は小玉傾向か。全体量は多くないが相場は多少軟化するか。入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>							
たまねぎ		2017年	12, 151	131	136	134	124
	2018年	11, 905	102	110	99	99	北海道 45%
	2019年	13, 189	122	124	126	114	熊本 2%
	2020年	14, 258	59	70	64	48	静岡 1%
	2021年	13, 656	79	82	74	81	中国 1%
	5ヵ年平均	13, 032	97	103	98	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2022年見通し	10, 000	190	220	180	170	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道が終盤になり佐賀からの入荷が本格化していく。貯蔵の北海道は残量少ない。佐賀は終盤の極早生品種は生育が遅れ小玉傾向で、続く早生品種は生育順調。総じて出回りは少なく、高値が続く見込み。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2017年	6,507	414	413	403	412	青森 21%
	2018年	6,083	440	443	431	430	熊本 19%
	2019年	6,997	436	419	432	432	フィリピン 18%
	2020年	5,854	468	455	469	445	愛知 10%
	2021年	7,243	415	433	402	420	三重 6%
	5カ年平均	6,537	433	—	—	—	
	2022年見通し	6,100	470	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、りんご、かんきつなどが主な品目となる。りんごはいずれの品種も例年より少なく、単価は高くなる予想。下旬から有袋の入荷が始まる予定。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
いちご	2017年	824	1,054	1,115	1,039	1,011	愛知 65%
	2018年	761	1,102	1,148	1,079	1,090	熊本 21%
	2019年	924	1,045	1,065	1,054	1,053	鹿児島 4%
	2020年	706	1,171	1,199	1,188	1,139	佐賀 3%
	2021年	824	1,042	1,049	1,012	1,067	福岡 2%
	5カ年平均	808	1,079	1,111	1,070	1,069	
	2022年見通し	800	1,000	1,100	1,000	1,000	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。3月上中旬の気温上昇により、全国的に生育は前進している。4月上旬までは4番果の入荷で、入荷量が多い予想。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
その他 メロン (アールスメロンを除く)	2017年	327	321	193	339	441	熊本 59%
	2018年	207	459	377	463	496	鹿児島 19%
	2019年	236	493	526	482	493	その他中南米 6%
	2020年	201	530	612	577	503	メキシコ 6%
	2021年	160	521	537	551	556	その他 6%
	5カ年平均	226	448	419	464	489	
	2022年見通し	160	520	530	500	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
その他 メロン (アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、鹿児島、メキシコから入荷する。九州産地は作付面積が減少しており、前年より入荷量は微減し、単価はやや高くなる見込み。 入荷量と価格はともに前年並となる見込み。						

東京都中央卸売市場

3月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2017年	27,127	454	490	448	422	青森 22%
	2018年	23,963	490	518	480	469	熊本 17%
	2019年	26,863	480	490	474	477	愛媛 10%
	2020年	23,649	502	512	503	490	栃木 9%
	2021年	28,060	467	494	452	450	フィリピン 7%
	5ヵ年平均	25,932	478	—	—	—	
	2022年見通し	25,000	480	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごを中心に、施設果樹も入荷する。貯蔵量の少ないりんごなど入荷の少ない品目もあるが、概ね平年並となる品目が多い見込み。業務需要の回復が期待され、単価は上向くか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
いちご	2017年	4,654	1,082	1,192	1,049	962	栃木 51%
	2018年	4,291	1,095	1,152	1,050	1,046	福岡 13%
	2019年	4,912	1,096	1,103	1,101	1,079	茨城 11%
	2020年	4,104	1,156	1,172	1,140	1,151	静岡 8%
	2021年	5,055	1,016	1,070	969	984	佐賀 6%
	5ヵ年平均	4,603	1,086	1,135	1,059	1,041	
	2022年見通し	4,800	1,020	1,070	1,020	970	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木を中心に福岡、茨城などの各地から入荷する。3番果のピークが各産地でバラつき、4番果との端境なく安定した入荷を見込む。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。						
その他メロン (アールスメロンを除く)	2017年	797	535	518	539	530	茨城 47%
	2018年	608	542	632	561	512	熊本 41%
	2019年	735	537	629	568	498	ホンジュラス 3%
	2020年	648	530	650	559	497	メキシコ 2%
	2021年	939	587	706	606	550	宮崎 2%
	5ヵ年平均	745	549	629	569	520	
	2022年見通し	740	590	700	570	500	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本からアンデス、クインシー、茨城からオトメメロンが入荷する。各産地とも生育は順調で、4月中下旬から入荷のピークを迎える見込み。入荷量は今後の天候次第だが、平年並となるか。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年並となる見込み。						

# 切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2017年	1, 6 2 8	3 4	
		2018年	1, 7 8 1	3 5	
		2019年	1, 6 7 2	3 8	
		2020年	1, 1 7 9	2 7	
		2021年	1, 2 6 1	3 3	
	5カ年平均	1, 5 0 4	3 4		
2022年見通し		1, 2 0 0	3 5		
概要	愛知中心の入荷となる。上旬は入荷量少なめだが、中旬以降年末の返しが始まるにつれ、入荷量は安定してくるだろう。大きな需要もなく、動きは鈍そうである。				
小 ぎ	実績	2017年	1, 1 0 4	1 9	
		2018年	1, 1 5 3	2 6	
		2019年	9 8 0	3 3	
		2020年	8 2 4	2 1	
		2021年	9 2 4	2 3	
	5カ年平均	9 9 7	2 5		
2022年見通し		9 0 0	2 5		
概要	沖縄中心の入荷となる。上旬は入荷量少ないが、中旬以降は年末の返しも始まり、入荷量は安定してくる。大きな需要もなく、相場次第では下位等級の出荷調整もあるだろう。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2017年	1, 1 7 2	3 4	
		2018年	1, 5 4 7	2 7	
		2019年	1, 2 4 6	4 3	
		2020年	9 9 6	3 2	
		2021年	1, 1 6 6	5 4	
	5カ年平均	1, 2 2 5	3 8		
2022年見通し		1, 2 0 0	4 5		
概要	愛知、和歌山中心に入荷。昨年同様ダラダラした出荷となる見込み。今年も母の日が早い日まわりとあって、中旬より堅調な相場展開に推移すると思われる。				
か す み	実績	2017年	1 9 6	6 0	
		2018年	2 3 8	5 2	
		2019年	1 8 2	7 8	
		2020年	1 6 1	5 5	
		2021年	2 0 2	6 9	
	5カ年平均	1 9 6	6 3		
2022年見通し		2 1 0	6 5		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷となる。和歌山については遅れていた2番花もようやく咲いてくるため、上中旬は増える見込み。中下旬は大きな需要もないため、相場は落ち着いたものとなる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2017年	262	163	
		2018年	301	153	
		2019年	263	184	
		2020年	231	123	
		2021年	258	160	
	5カ年平均		263	157	
	2022年見通し		240	150	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉からの入荷となる。中旬は年末の返し分が出荷され、数量が多くなりそう。鉄砲は生産が減少しているため、相場の大きな崩れはない見込み。</p>				
洋らん	実績	2017年	377	72	
		2018年	356	78	
		2019年	410	73	
		2020年	206	88	
		2021年	272	97	
	5カ年平均		324	80	
	2022年見通し		280	90	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島などの国産に加え、輸入品が入荷する。デンファレはアンナの切上がりが増え、上旬にその影響が顕著化する。オンシジウムは昨年並み2週目あたりか増加する見込み。シンピジウムは国産が徐々に減少し、輸入品に切り替わっていく。胡蝶蘭は中国産の不足から台湾産の引合いに影響があり、例年のような供給過多となる場面はない見通しで、カトレアは入荷増が見込まれるが、需要も回復基調で昨年よりは単価の回復が見込まれる。</p>				
ばら	実績	2017年	750	63	
		2018年	849	48	
		2019年	727	65	
		2020年	505	56	
		2021年	630	80	
	5カ年平均		692	62	
	2022年見通し		630	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷。輸入の入荷が無くなり、高冷地の出荷が始まってくる。気温の上がりが遅いため、急激な増加はない。4/23のサンジョルディから母の日に向け、下旬からは引合いが強くなる。</p>				
枝も	実績	2017年	1,405	47	
		2018年	1,512	48	
		2019年	1,348	56	
		2020年	835	49	
		2021年	1,215	59	
	5カ年平均		1,263	52	
	2022年見通し		1,200	55	
概要	<p>桜、コデマリ、雪柳などが出荷終了し、初夏の花材に代わっていく。山取り品を中心とした入荷となり、ショーブなども始まる。今年は例年よりも寒く、寒の戻りも気がかりで新芽の時期でもあり、目飛び、花飛びなど不安が残る。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カ ラ	実績	2017年	11,959	536	
		2018年	33,365	438	
		2019年	30,014	459	
		2020年	36,659	430	
		2021年	22,158	704	
	5ヵ年平均		26,831	493	
	2022年見通し		24,000	667	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。中旬以降から入荷は徐々に増え始め、母の日需要が高まる4月下旬より急増する。鉢サイズは5号鉢中心となるが、近年4号以下の需要も高まりつつある見込み。前年同様、母の日前より注文が一気に増え始めるため、競売品は品薄状態となる。価格は安定する見込み。今期も大輪の黄色、ピンクの引き合いは強い。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（43.1%）、2位埼玉（14.9%）、3位愛知（9.9%）となっている。</p>				
フォーレ ノプ シス	実績	2017年	27,799	3,365	
		2018年	48,427	2,564	
		2019年	43,014	3,031	
		2020年	46,450	1,932	
		2021年	43,621	3,026	
	5ヵ年平均		41,862	2,722	
	2022年見通し		43,000	3,047	
概要	<p>入荷量は前年並か。前年は3月の緊急事態宣言解除により4月の相場は安定した。今年は母の日も5月上旬と例年より早く、4月中の仕入れが集中し単価は安定する見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（50.9%）、2位静岡（9.8%）、3位熊本（8.2%）となっている。</p>				
バラ 及び ミニ バラ	実績	2017年	61,740	182	
		2018年	75,413	190	
		2019年	64,699	217	
		2020年	76,851	205	
		2021年	83,332	259	
	5ヵ年平均		72,407	212	
	2022年見通し		83,000	259	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。1～2月の寒さの影響で生育遅れもあり、4月上旬は潤沢に入荷する見込み。相場は中値安定が予想されるが、入荷増の月上旬～中旬は需要期前のために安値が予想される。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（57.1%）、2位岐阜（35.1%）、3位千葉（2.8%）となっている。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ	実績	2017年	1 2 1, 7 8 4	6 9 6	
		2018年	1 9 1, 1 2 8	7 7 1	
		2019年	1 6 1, 3 3 4	8 2 3	
		2020年	2 2 3, 3 5 9	8 5 3	
		2021年	2 5 8, 7 2 8	9 3 9	
	5ヵ年平均	1 9 1, 2 6 7	8 3 5		
	2022年見通し	2 5 8, 0 0 0	9 4 2		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。天候の不順が無ければ順調な入荷となる見込み。5号サイズが入荷の中心だが、近年4号サイズが増産傾向にあり、また3.5号ポットの出荷も増加が予想される。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(64.6%)、2位群馬(9.0%)、3位埼玉(6.2%)となっている。</p>				
ス パ テ ィ フ ィ ラ ム	実績	2017年	1 7, 4 0 2	4 3 2	
		2018年	2 4, 6 0 2	3 5 6	
		2019年	1 9, 9 7 2	3 7 0	
		2020年	2 0, 6 6 1	3 6 5	
		2021年	1 7, 5 5 2	4 4 7	
	5ヵ年平均	2 0, 0 3 8	3 9 0		
	2022年見通し	1 7, 5 0 0	4 4 8		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。サイズは4号中心の入荷がメインになる見込み。近年5号以上の生産は減少傾向のため、競売比率も下がって平均単価は上がると思われる。出荷は4月中旬以降から母の日までの入荷がメインになる見込み。母の日用の3号の今季入荷時期が5月以降になるため、4月の入荷量は昨年より減少する見込み。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(50.2%)、2位静岡(26.3%)、3位愛知(16.4%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実績	2017年	4 0, 8 3 4	2 7 6	
		2018年	1 1 7, 7 2 3	3 4 4	
		2019年	8 9, 2 4 9	3 5 2	
		2020年	1 3 3, 2 2 1	3 4 9	
		2021年	1 4 4, 0 8 0	4 3 7	
	5ヵ年平均	1 0 5, 0 2 1	3 6 7		
	2022年見通し	1 4 4, 0 0 0	4 3 7		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。作付け減と駆け込み需要が重なり競売品の引き合いが強い見込み。花の固すぎ咲きすぎに注意して出荷をお願いしたい。</p> <p>前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.2%)、2位群馬(19.6%)、3位埼玉(9.8%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.586  
2022年4月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434